

一般負担の上限額の適用方法

平成28年4月13日

電力広域的運営推進機関

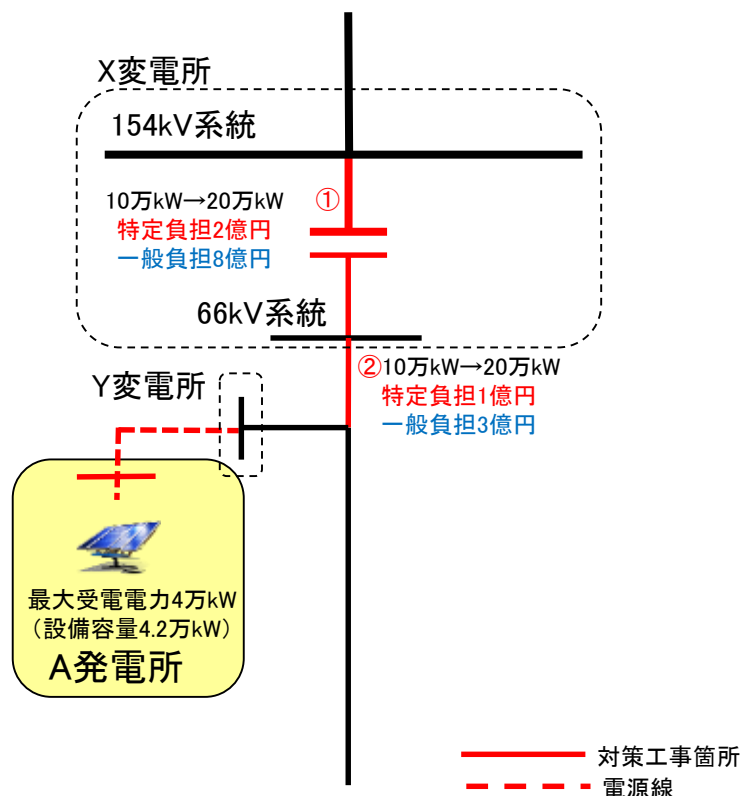
空白

[1] A発電所が単独で連系する場合の適用方法

[1] A発電所が単独で連系する場合の適用方法

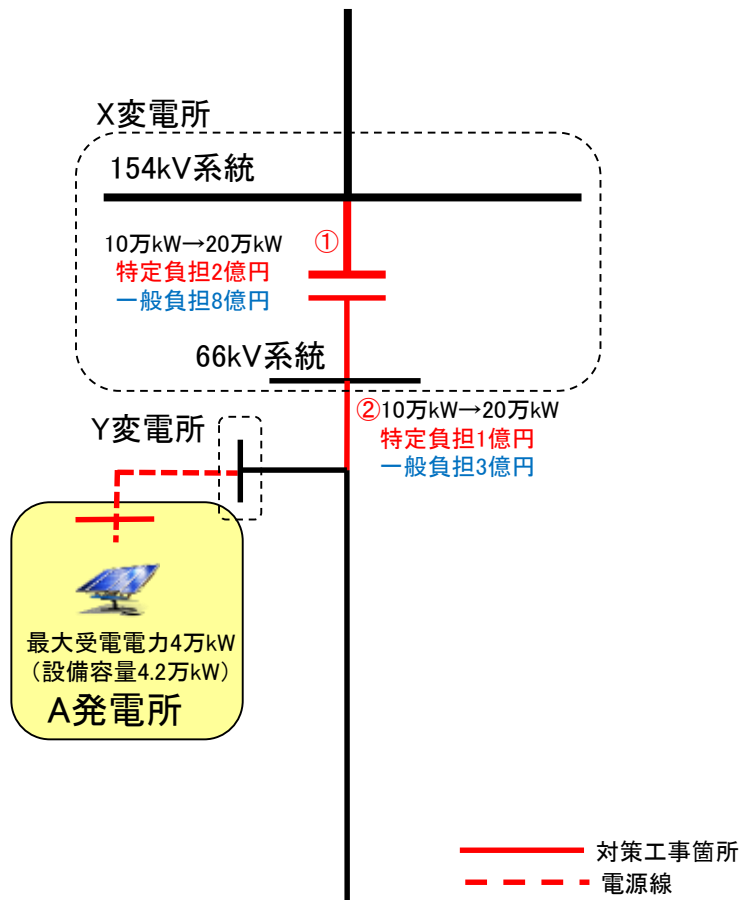
- 66kV系統にA発電所(太陽光発電所：設備容量4.2万kW、最大受電電力4万kW(以下、最大受電電力を記載))が連系することに伴い①154/66kV変圧器増強および②66kV送電線増強工事を行う場合を想定する。

(発電設備の設置に伴う送配電等設備増強工事費の特定負担額・一般負担額への配分は「発電設備の設置に伴う電力系統の増強及び事業者の費用負担等の在り方に関する指針」(平成27年11月6日 資源エネルギー庁 電力・ガス事業部)に基づき行われる。
本資料の工事費及び特定負担額・一般負担額は仮定の額を記載。(以下同様))



[1] A発電所が単独で連系する場合の適用方法

(1) A 発電所連系に伴う工事費の一般負担の総額と特定負担の総額を算出

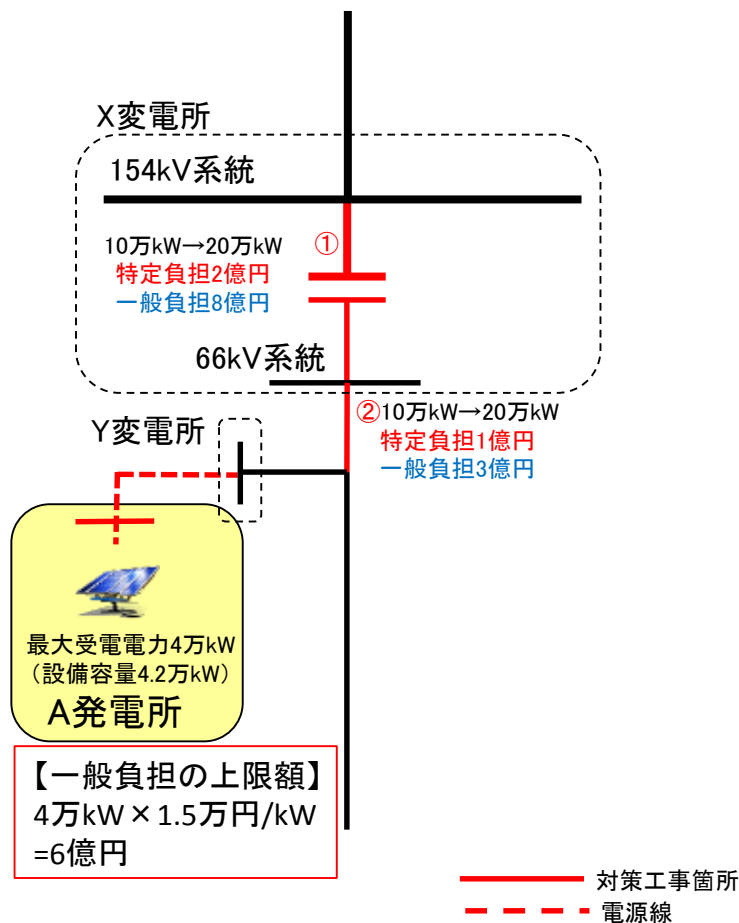


対策	工事名称	工事費[億円]	特定負担			
			特定負担	A 4万kW	一般負担	A 4万kW
①	154/66kV変圧器増強 10万kW→20万kW	10	2	2	8	8
②	66kV送電線増強 10万kW→20万kW	4	1	1	3	3
	工事費総額	14	3	3	11	11

[1] A発電所が単独で連系する場合の適用方法

(2) A 発電所の一般負担の上限額(**最大受電電力**[kW]×一般負担の上限額単価 [万円/kW])を算出。

一般負担額のうち一般負担の上限額を超過した分が特定負担になる。



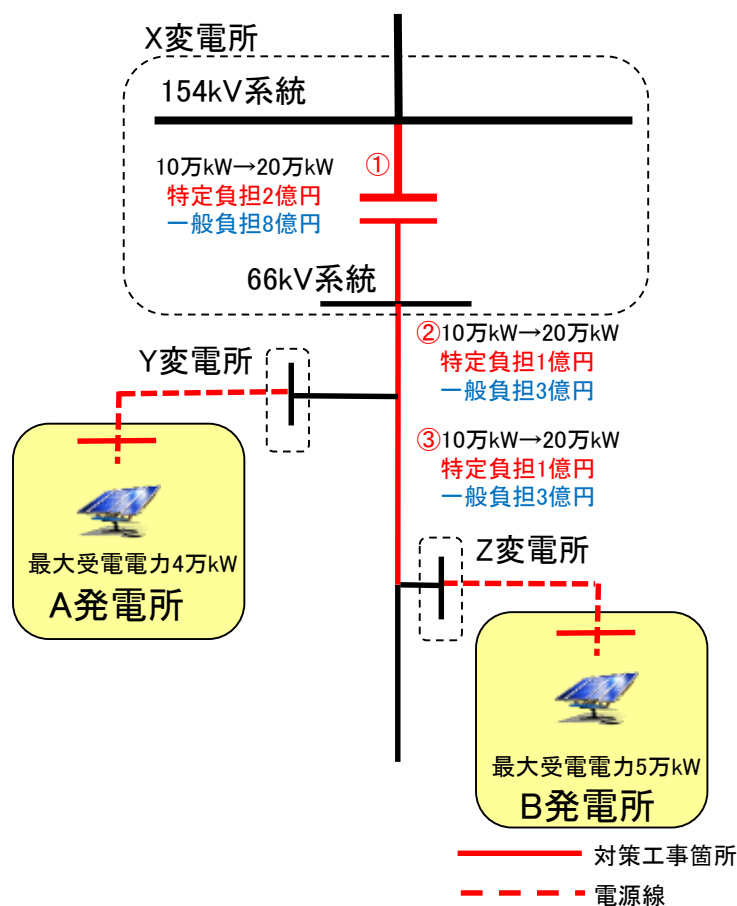
対策	工事名称	工事費[億円]				
		特定負担	A 4万kW	一般負担	A 4万kW	
①	154/66kV変圧器増強 10万kW→20万kW	10	2	2	8	8
②	66kV送電線増強 10万kW→20万kW	4	1	1	3	3
	工事費総額	14	3	3	11	11
	一般負担の上限額				4万kW × 1.5万円/kW=6億円	6
	一般負担の上限額 超過額				一般負担の上限額(6億円)を 超過した5億円が 一般負担から特定負担になる	5
	一般負担の上限額 適用後の工事費	14	8 (3+5)	8 (3+5)	6 (11-5)	6 (11-5)

特定負担額3億円と一般負担の上限額超過分5億円を合計した8億円がA発電所の特定負担になる。

[2] A発電所とB発電所が同時に連系する場合の適用方法

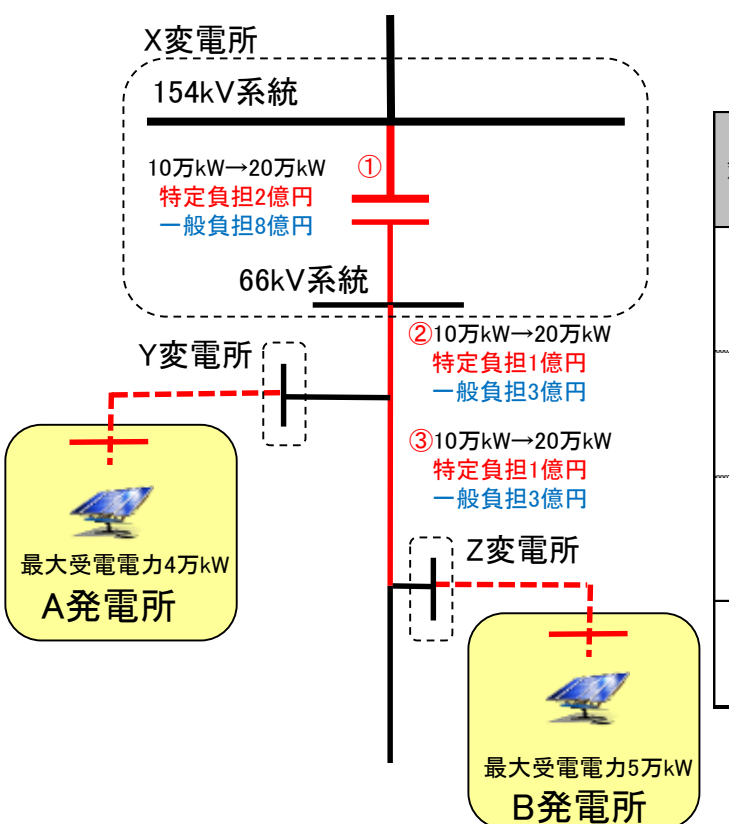
[2] A発電所とB発電所が同時に連系する場合の適用方法

- 66kV系統にA発電所(太陽光発電所4万kW)、B発電所(太陽光発電所5万kW)が連系することに伴い①154/66kV変圧器増強および②③66kV送電線増強工事を行う場合を想定。



(1) 工事費を最大受電電力比で各発電所に配分

- ① A, Bが使用するため、①の工事費をA, Bの最大受電電力比で按分 (A:B=4:5)
- ② A, Bが使用するため、②の工事費をA, Bの最大受電電力比で按分
- ③ Bのみが使用するため、工事費はBに配分



対策	工事名称	工事費[億円]	工事費[億円]					
			特定負担			一般負担		
				A 4万kW	B 5万kW		A 4万kW	B 5万kW
①	154/66kV変圧器増強 10万kW→20万kW	10	2	0.9	1.1	8	3.6	4.4
②	66kV送電線増強 10万kW→20万kW	4	1	0.4	0.6	3	1.3	1.7
③	66kV送電線増強 10万kW→20万kW	4	1	-	1.0	3	-	3.0
	工事費総額	18	4	1.3	2.7	14	4.9	9.1

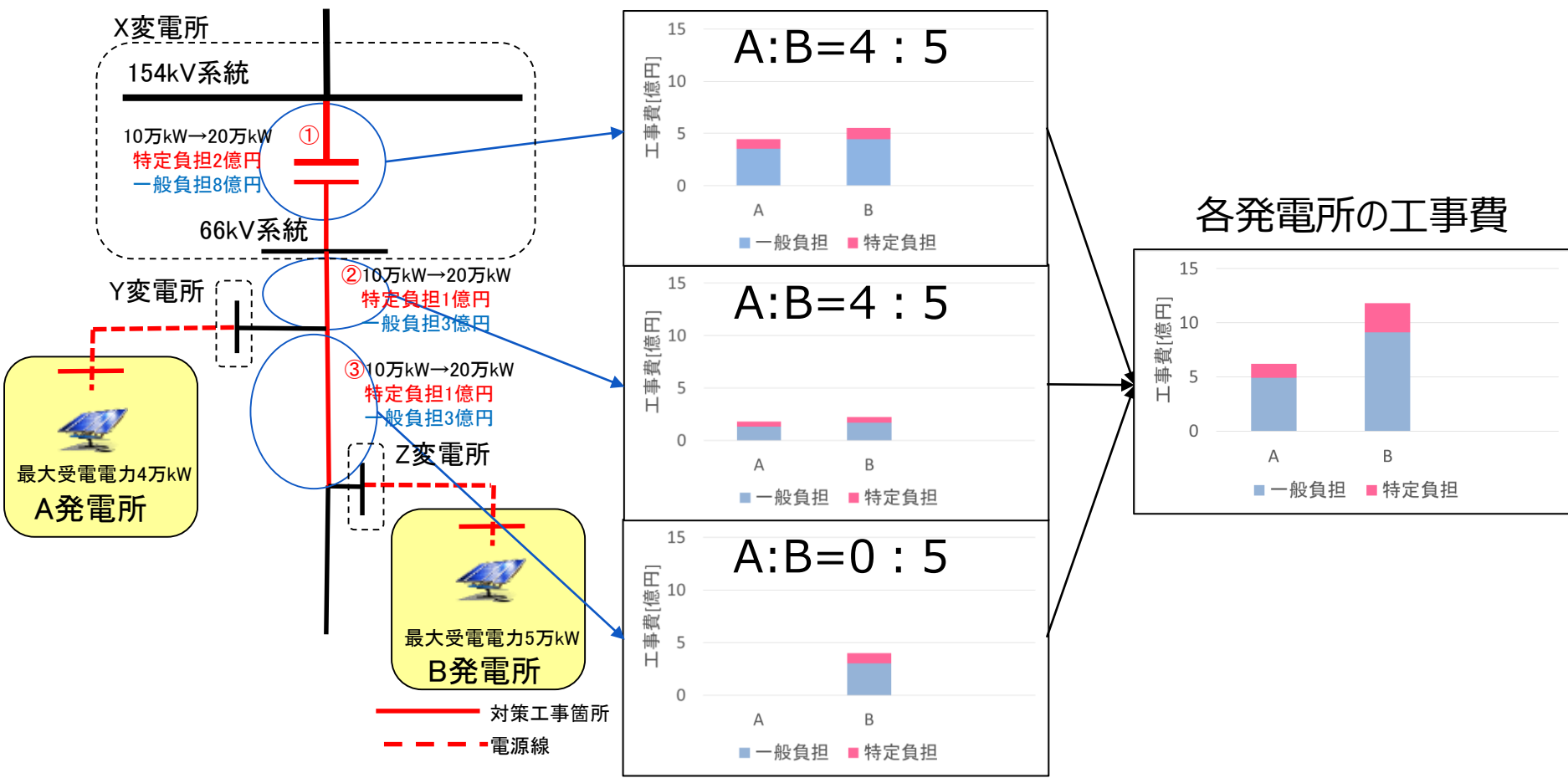
特定負担額を
A:B=4:5で按分

一般負担額を
A:B=4:5で按分

特定負担額を
Bに配分

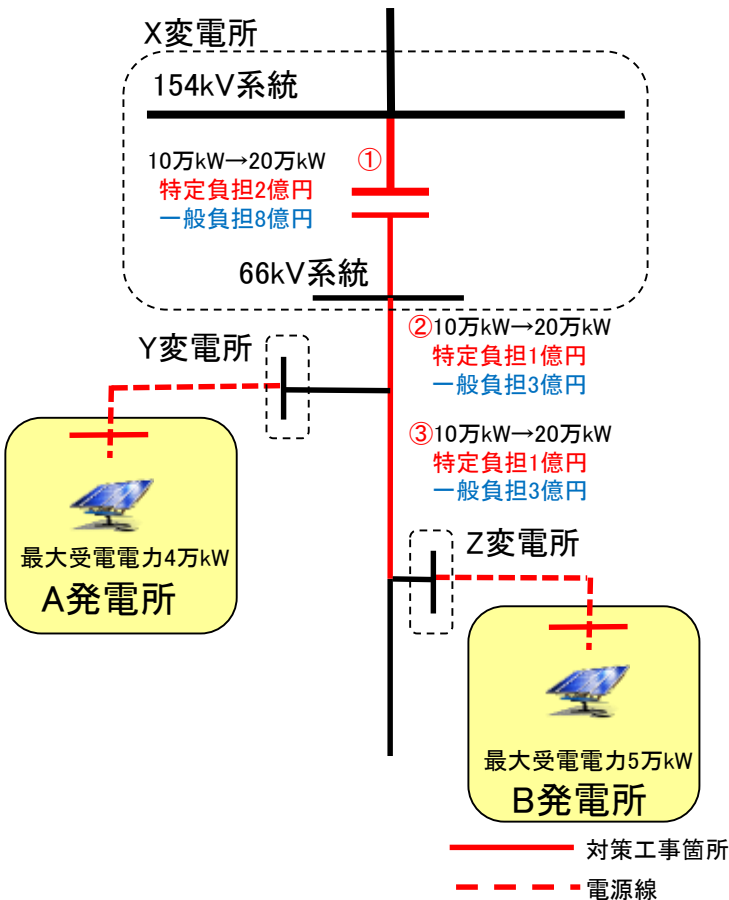
一般負担額を
Bに配分

【工事費の配分(一般負担の上限額適用前)】



(2) (1)で算出したA発電所, B発電所の一般負担額をそれぞれ上限額と比較し、一般負担額のうち一般負担の上限額を超過した分が特定負担になる。

	A	B
最大受電電力 [万kW]	4	5
一般負担の上限額単価 [万円/kW]	1.5	1.5
一般負担の上限額 [億円]	6	7.5



対策	工事名称	工事費[億円]						
			特定負担		一般負担			
			A 4万kW	B 5万kW	A 4万kW	B 5万kW		
①	154/66kV変圧器増強 10万kW→20万kW	10	2	0.9	1.1	8	3.6	4.4
②	66kV送電線増強 10万kW→20万kW	4	1	0.4	0.6	3	1.3	1.7
③	66kV送電線増強 10万kW→20万kW	4	1	-	1.0	3	-	3.0
	工事費総額	18	4	1.3	2.7	14	4.9	9.1
	一般負担の上限総額						6.0	7.5
	一般負担総額の上限 超過額					1.6		1.6
	一般負担の上限額 適用後の工事費	18	5.6 (4+1.6)	1.3	4.3 (2.7+1.6)	12.4 (14-1.6)	4.9	7.5 (9.1-1.6)

B発電所の一般負担額のうち一般負担の上限額(7.5億円)を超過した1.6億円が一般負担から特定負担になる。

A発電所の一般負担額は上限額以下のため、A発電所の負担額は変動なし

【工事費の配分(一般負担の上限額適用後)】

